

源流の里による生命環境を生かした村づくり

長野県根羽村（2022年度選定）

1. 地域の特徴と課題及び目標

- ▶ 地域資源の活用と新たな発想で村内での雇用・経済の循環を確保する
- ・地域資源を活かした農林業を基幹産業と位置づける
- ・木材需要の低迷により、更に付加価値を高める取組み
- ・新たな発想での「しごと」創生を目指す
- ・既存産業の成長産業化、地域の特色や強みを活かした経済活性

2. 関連するゴール



3. 取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)

- ▶ 矢作川の水源地域の森林環境を生かした林業や、茶臼山の環境保全活動
- ▶ 地球温暖化による脱炭素化など、グリーン社会への取組み
- ▶ 官民連携を加速させ地域経済の活性化と、持続可能社会（SDGs）に向けた取組み

4. 自治体SDGs推進等に向けた取組

▶ 地域特産品の開発事業

- 根羽スギを原料とした木質繊維（木の糸）の事業展開
- ・大阪・関西万博の医療スタッフのユニフォームに採用
- ・県内産材と連携したNAGANOブランドの開発



大阪・関西万博ユニフォーム



NAGANOブランド 木の糸ジャケット公開式（中央 阿部長野県知事）

5. 取組推進の工夫

人材不足、経験不足が課題であることから、産官学連携、地域間連携を進めている。信州大学との官学連携、矢作川流域連携をはじめ、県内の地域間連携や他府県自治体との繋がりも広がった。民間においてもSDGsに関する目標が一致し、官民連携が進みやすくなり活動成果に貢献している。

8. 他地域への展開状況（普及効果）

木の糸事業は、産官学によるコンソーシアム（共同事業体）として、地域間連携を進めており、森林を持つ原産地、製造、販売業（中小企業）、大学（信州大学）が参加し、協力関係を保ちながら経済活性を目指している。（熊本県天草市、徳島県上勝町、大阪府阪南市、長野県根羽村）

6. 取組成果

▶ 森林資源の活用(環境)

一般社団法人more treesと「森林保全及び地域活性化に関する協定」を締結。同団体が進める森づくりで「シチズンの森」(シチズン時計株式会社)が始動。



シチズン時計株式会社の「シチズンの森」

(社)more treesの仲介で、民間企業へSDGs活動の場を提供。年間管理費の他、企業社員の研修、環境活動により関係人口が増え、経済効果が期待される。

受入、管理費等の経済効果試算
約5,000千円～6,000千円/年

7. 今後の展開策

森林資源の有効活用として、バイオマス産業への原料提供の検討をはじめた。産業界では、SDGs を目標とし、化石原料由来から、バイオマス原料へのシフトが進んでおり、既に、木材を原料とした再生可能プラスチック企業や、薬品メーカーなどの連携検討が始まっている。持続可能な地域づくりには、経済活性は欠かせなく、森林資源を活用し、地域の特性を生かした地域づくりを進めたい。